

# 第7回「大人のためのブックトーク」開催しました！

1月14日元岐阜県図書館長大平高司氏と当館司書による本年度7回目のブックトークが開催されました。「私の好きな時代小説」と「私の好きな教養書」の2部に分け、それぞれの本の魅力が熱く語られました。参加者 27人（雪が降る中ご参加いただき、ありがとうございました。）



## 江戸時代の時代小説の魅力

- ・人の生き方が描かれている
- ・剣術の描写が見事である

←【小説の中に出てくる剣法の構えを実演する大平先生】

### 1. 私の好きな時代小説

①藤沢周平『隠し剣 孤影抄』 文藝春秋

- ・男女の情愛
- ・派閥争いの中で生きていく男のしがらみ

『隠し剣 秋風抄』 文藝春秋

『蝉しぐれ』 文藝春秋

『風の果て』上・下 文藝春秋

『市塵』上・下 講談社

②津本陽 『明治撃剣会』 文藝春秋

『千葉周作』 角川書店

- ・安定した身分を捨て一剣道家として生きるという生きざま
- ・教育者としての優秀さ

『薩南示現流』 文藝春秋

『孤壘の名人 合気を極めた男・佐川幸義』 文藝春秋

### 2. わたしの好きな教養書

①ネアンデルタール人は私たちと交配した

スヴァンテ・ペーボ 文藝春秋 2015年

事実だけでなく、研究の過程がよくわかる。

②銃・病原菌・鉄 上・下

ジャレド・ダイヤモンド 草思社 2000年

③感染症と文明

山本太郎 岩波新書 2011年

### 【岐阜県図書館：後藤司書によるおすすめ本の紹介】

①ぼくたちの外国語学部

黒田龍之助 三修社 2013年

②学生と読む『三四郎』

石原千秋 新潮社 2006年

③キシマ先生の静かな生活（「まどろみ消去」より）

森 博嗣 講談社 1997年

## ○感想等

- ・図書館の棚を見ても、いつも手に取るのは決まっているので、読書の対象を広げたいと思い参加した。藤沢周平がまた好きになった。木刀が具体的でよかった。本を語ると熱くなる感じですね。
- ・あつという間に時が過ぎ、もっと聞きたかった。自分と違った視野でよかった。
- ・知らなかった本の紹介を聞けて、とても楽しい時間でした。
- ・今まで時代小説に関心がなく、読んだことがなかったけれど、お話を聞いて、読んでみようと思った。友達が江戸時代の時代小説が好きでよく読んでいたので、興味をそそられました。とても楽しく聞けて、よかったです。
- ・大平先生の剣の知識（実演を含めた）が、大変面白かったです。
- ・剣術を観点とした話、面白かったです。時代小説・歴史小説は、あまり読んでいませんが、そういう観点で読んでみるのはよさそうです。
- ・今日も自分が知らない本を知ることができてよかった。
- ・今回初めて出席しました。あまり読書家ではないため敷居が高いと思っていましたが、今日のような会であれば、また来てみようと思いました。
- ・本日のブックトークに参加でき、今後尚の想いで、このひとときの参加に感謝の想いです。
- ・長く続けてほしい企画です。
- ・リストがあるならば、最初に渡してほしかった。どんな本が紹介されるかという楽しみよりも、その本について、どう考えたのかということをより大切にしたいからです。その方が司書や先生の話により集中できたと思われます。

## 次回予定

**2月18日（土）**

**14：00～15：15（13：30開場）**

**申込不要（当日先着60名）、無料**

大人のためのブックトーク終了後、「図書館探検ツアー」を開催します。

普段見ることのできない図書館の裏側をご覧ください。

**15：30～16：30**

**要申込（電話 または 県図書館第1カウンター）、無料**